

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さいたま子どもサポートステーション		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		～ 2026年 1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		～ 2026年 1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月10日		～ 2026年 1月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の特性に応じた人材を確保し、子どもの特性に合わせた個別支援ができています。 (共感的な関わりと、安心感を与える支援姿勢)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの意向を汲み取り、主体性を尊重した支援を行う。 子どもと関係構築することで、安心できる環境を整える。 	引き続き、お子さんを取り巻く環境や配慮する視点について、直接的な支援を通してアセスメントを深めていく。
2	訪問先施設との連携が図られ、定期的な訪問が実施できている。	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容や子どもの様子を口頭、記録文書で分かりやすく報告している。 訪問先施設の要望に配慮して支援を行っている。 適宜、カンファレンスに参加し、課題や支援の方向性を擦り合わせる。 	お子さんを取り巻く環境や配慮する視点について、引き続き訪問先施設と情報共有する機会を設け、支援の相乗効果が高められるよう努める。
3	職員会議等を通じて職員が専門家(児童精神科医)からSVを受ける機会を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントに基づき、子どもの特性に応じた環境設定や関わり方を検討している。 定期的な職員会議の場でケースの共有を行い、支援方法の確認、意見交換をしている。 	事業所内で定期的に会議を開催するとともに、ケース検討や勉強会を行うなどして支援の質の向上を目指す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内で職員間の共有が十分とは言えず、それぞれの訪問支援員が培ってきた経験や知識に頼る部分が多い。	訪問先に応じて担当制を取っているため、支援が画一化しやすい。 事業所内でケース共有を行っているが、訪問先施設の特性や環境等が様々で職員間で相互理解しにくい面がある。	日々の連携や共有方法を見直し、効果的な教材や取組の周知を迅速に行い、各訪問支援員の支援の幅を広げられるような取組を構築する。 定期的なカンファレンスの場を継続していく。
2	訪問先施設との連携について、十分な時間が設けられていないところがある。	訪問先において、その日の状況により情報の共有時間を確保することが難しくなることがある。 訪問先施設と情報の共有方法を確認していく。	限られた訪問回数や時間の中で、訪問先のニーズと支援内容を整理する必要がある。 支援の評価や効果を検証するためにも、訪問先との情報共有の時間の確保を依頼していく。
3	事業所の危機管理やマニュアルについて、実際の支援を踏まえて検証や見直しができている。 (訪問支援中の事故、災害等)	事業所開設から数年が経過していることも踏まえ、訪問支援を行う上での危機管理の視点でマニュアル等の改訂が必要になっている。	業務中の事故や被災を想定した取組を検討、訓練するとともに、必要に応じてマニュアルの見直しを行っていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 さいたま子どもサポートステーション

公表日 2026年3月25日

利用児童数 24 ※2025年12月10日 回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	17	1			・子どもに合わせていくつもの教材を準備してくれる。 ・子どもが関心を持つものをその都度用意してくれる。 ・子どもの興味や発達段階に合った教具を用意してくれる。 ・施設にあるブロック、ボール等を使用して活動している。必要なものは事前に相談してくれる。	ご意見ありがとうございます。お子さんの要望や状態に合わせた教具教材を、ご相談させていただきながら使用していきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	16	2			・施設側の環境整備の問題でプライバシーの配慮が不足してしまう時がある。 ・居室での関わりがあるが、プライバシーには配慮されている。 ・個別の部屋で実施できている。	ご意見ありがとうございます。今後もプライバシーへの配慮を徹底し、安心して支援を受けていただける環境づくりに努めてまいります。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	18					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	18				・こちらの都合に合わせてとても柔軟に対応してくれる。 ・学校からの帰宅時間等に配慮して相談しながら決めている。	ご意見ありがとうございます。訪問先施設と連携して支援を今後もさせていただきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	17	1				
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	17	1			・適宜、会議に出席してもらうことで、助言をもらい本人への支援に反映している。 ・子どもが理解しやすいよう端的に話したり、目で見えるように説明してくれる。	ご意見ありがとうございます。引き続きフィードバックなども含めて職員と共有しながら協働していきたいと思えます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	17	1				
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	18					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	16	1		1	・ガイドラインを確認していないため、明確に回答できず申し訳ない。	ガイドラインの共有が不十分で申し訳ありません。今後は明確にご確認いただける形でご案内いたします。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	16	2				
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	18				・時間通りに活動が終わるよう子どもへの声かけ、対応を工夫してくれる。（他児童の対応もあるため、時間通りに実施してくれるのはとても助かる）	ご意見ありがとうございます。今後も訪問先施設の担当者と連携し、訪問先施設の状況に配慮した訪問支援を行ってまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	9	6	1	2	家族支援は今のところ行っていない。	ご意見いただきありがとうございます。要望等あれば検討してまいりたいと思えます。

保護者への説明等	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	16	1	1	・事業所と施設間では密に情報共有できていると思うが、まだ話し合いの機会をしっかりと持たせておらず、保護者への共有は足りないところがある。	ご意見いただきありがとうございます。入所中のお子さんに対しては、依頼があれば保護者への説明を行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2		・本人と関わる前後の時間に適宜助言をもらっている。 ・子どもの保育所等の日に話ができるが、会議に入ってもらえる事が少なくなってしまったので、(こちらの都合だが)そこを少しでもどうにかしたいと思っている。 ・月1回30分のフィードバックの時間があり、訪問のたびに対応の助言をもらっている。	ご意見ありがとうございます。ケース会議には必要に応じて参加させていただきたいと考えております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2		・利用児の思いを常に受けとめていると感じる。	ご意見ありがとうございます。今後もお子さまの気持ちに寄り添いながら、安心して過ごせるような支援に努めてまいります。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1			
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1			
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	17	1		・日々の困りごと等にもアドバイスをもらっている。	ご意見いただきありがとうございます。今後も利用して頂いている利用者様や訪問先施設職員の方の思いを大切にしていきたいと思っております。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	17	1			
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	17	1		・毎回フィードバックをしてくれる。 ・保護者に対しては現在は施設側からの電話での報告程度なので、十分な共有ができていないとは言えない。	ご意見いただきありがとうございます。今後ともフィードバックの機会を持っていききたいと思います。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	4	5		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1			
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	13	2	2	1	・避難経路等の共有をしていないため、施設側としても早急に対応したい。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	2	1		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	16	1	1	・大変満足している。 ・本人のペースに合わせてくれている。 ・現状は来ていただけることを楽しみにしている。 ・非常に楽しみにしている。	ご意見いただきありがとうございます。今後もお子さまが楽しいと感じていただけるような支援を行ってまいりたいと思っております。
	28	事業所の支援に満足していますか。	16	1	1		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年3月25日

利用児童数

24 ※2025年12月10日

回収数 10

	チェック項目				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8	2		・CWにとっては難しい時もあるようだ。 ・受け入れられないこともあったようだ。	ご意見いただきありがとうございます。共通認識を持って支援に当たることができるよう、密に連携していきたいと思えます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8	2			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	1		・感情的な部分もあり、回答していただいても受け入れづらいこともあるようだ。	ご意見ありがとうございました。質問の意図や課題となる状況を引き続き共有できる関係作りに努めていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	3		・課題は長期的なものであり、解消するのは難しく、一時的に軽減しても他の環境的刺激で戻ってしまう。	ご意見ありがとうございました。様々な視点から支援の糸口を探り、支援計画に反映できるよう努めていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	8	2		・職員（CW）の様子を教えてもらえるのは、運営的にはありがたいです。子ども達は楽しみにしている。	ご意見ありがとうございます。引き続き、支援状況の共有を継続してまいります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・支援者の1人として、多くのアドバイスをもらえるのは大変ありがたいものの、子どもを取り巻く環境の中にある多くの支援者が同じ方向を向いていないと子どもに還元できないと感じた。事務所職員の退職等で支援が切れてしまったのはとても残念であった。ホームに入ってもらえることも良い点もあるが、取り出しで環境（場所）が変えた方がホームにとっても良さそうだった。 ・今後の進路について相談に乗ってもらったり、日常生活のつまずきに丁寧に支援してもらっている。アドバイスを参考にしていきたい。 ・ベテランの支援員さんは安心してお願いすることができている。 ・支援員の方の対応や技術はこちらの参考になるものが多くありがたく思う。利用児も支援日を楽しみにしている。 					<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>引き続き、お子様の特性や取り巻く状況等（学校、施設、関係機関など）を訪問先施設の職員の皆さまと共有しながら、より良い支援の環境や方法を一緒に考えさせていただきたいと思えます。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さいたま子どもサポートステーション		公表日		2026年3月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6		可能な範囲で教材を検討したり用意したりしているが、希望に応じられないこともある。	支援に必要な教具教材で、訪問先施設に常備されている物品等を借りることができるか確認していく。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		共通のファイルに入れて管理している	支援計画を職員が目を通せる体制を整え、月1回の会議において支援状況を共有・確認する時間を設けていく。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6		定期的な確認は必要である	今後も定期的に確認を行い、良質な支援に繋がっていくようにしていきたい。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員会議で状況を検討している	引き続き定期的に確認していく。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		6	訪問支援員が単独で支援先を訪問している。	その日毎の支援内容までの共有を行っていない。日誌を活用して簡単に支援内容も共有していく。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		職員会議などで適宜行っている。	定期的に職員会議で支援の振り返り、情報共有を行う。支援記録により職員間で内容を共有する。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋がっているか。	6					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要に応じて行っている。	訪問先施設の担当者と相談しながら、今後も必要に応じて情報共有を実施し、円滑な就学以降に向けた連携を行っていく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		6		事業所所在地外への訪問が多く、地域情報が共有できていない所があるが、連絡会などに参加できた際には、職員への共有と周知を行う。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		希望のある家族には行っている。	情報提供など必要に応じて行っていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		6	訪問先の特性により行っていない。	必要な機会がある場合には、保護者への説明の機会を設けていく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6	情報発信は課題である。	訪問先施設との兼ね合いもあり、個人情報に配慮しながら、発信方法を検討していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6			
非常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			